

2025 年 6 月 30 日

文部科学省 高等教育 学生支援課 高等教育修学支援室 殿

〔設置者の名称〕 学校法人 東京キリスト教学園

〔代表者の役職〕 理事長 〔代表者の氏名〕 廣橋信一

大学等における修学の支援に関する法律第 3 条第 1 項の確認に係る申請書

○申請者に関する情報

大学等の名称	東京基督教大学
大学等の種類 (いずれかに○を付すこと)	(大学・短期大学・高等専門学校・専門学校)
大学等の所在地	千葉県印西市内野 3-301-5
学長又は校長の氏名	篠原 基章
設置者の名称	学校法人 東京キリスト教学園
設置者の主たる事務所の所在地	千葉県印西市内野 3-301-5
設置者の代表者の氏名	廣橋 信一
申請書を公表する予定のホームページアドレス	https://www.tci.ac.jp

※ 以下のいずれかの□にレ点 (☑) を付けて下さい。

☐ 確認申請

大学等における修学の支援に関する法律施行規則第 5 条第 1 項に基づき確認申請書を提出します。

☒ 更新確認申請書の提出

大学等における修学の支援に関する法律施行規則第 5 条第 3 項に基づき更新確認申請書を提出します。

※ 以下の事項を必ず確認の上、すべての□にレ点 (☑) を付けて下さい。

☒ この申請書 (添付書類を含む。) の記載内容は、事実と相違ありません。☒ 確認を受けた大学等は、大学等における修学の支援に関する法律 (以下「大学等修学支援法」という。) に基づき、基準を満たす学生等を減免対象者として認定し、その授業料及び入学金を減免する義務があることを承知しています。☒ 大学等が確認を取り消されたり、確認を辞退した場合も、減免対象者が卒業するまでの間、その授業料等を減免する義務があることを承知しています。☒ この申請書に虚偽の記載をするなど、不正な行為をした場合には、確認を取

り消されたり、交付された減免費用の返還を命じられる場合があるとともに、減免対象者が卒業するまでの間、自らが費用を負担して、その授業料等を減免する義務があることを承知しています。

- ☒ 申請する大学等及びその設置者は、大学等修学支援法第3条第2項第3号及び第4号に該当します。

○各様式の担当者名と連絡先一覧

様式番号	所属部署・担当者名	電話番号	電子メールアドレス
第1号	事務局長・小町継太	0476-46-1131	omachi@tci.ac.jp
第2号の1	教務部・村山仁子	同上	mkimiko@tci.ac.jp
第2号の2	事務局長・小町継太	同上	omachi@tci.ac.jp
第2号の3	教務部・村山仁子	同上	mkimiko@tci.ac.jp
第2号の4	総務部・馬場千晶	同上	baba@tci.ac.jp

○添付書類

- ※ 以下の事項を必ず確認し、必要な書類の□にレ点（☒）を付けた上で、これらの書類を添付してください。（設置者の法人類型ごとに添付する資料が異なることに注意してください。）

「(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置」関係

- ☒ 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表《省令で定める単位数等の基準数相当分》
- ☒ 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書（シラバス）《省令で定める単位数等の基準数相当分》

「(2)-①学外者である理事の複数配置」関係

- ☒ 《一部の設置者のみ》大学等の設置者の理事（役員）名簿

「(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置」関係

- ☐ 《一部の設置者のみ》大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織に関する規程とその構成員の名簿

「(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表」関係

- ☒ 客観的な指標に基づく成績の分布状況を示す資料
- ☒ 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書（シラバス）《省令で定める単位数等の基準数相当分》【再掲】

その他

- ☒ 《私立学校のみ》経営要件を満たすことを示す資料
- ☒ 確認申請を行う年度において設置している学部等の一覧

(添付書類) 経営要件を満たすことを示す資料

学校コード	F112310102547	学校名	東京基督教大学
設置者名	学校法人 東京キリスト教学園		

I. ①直前3年度の決算の事業活動収支計算書における「経常収支差額」の状況

	経常収入(A)	経常支出(B)	差額(A)-(B)
申請前年度の決算	431,017,580円	593,457,689円	-162,440,109円
申請2年度前の決算	473,832,278円	686,519,592円	-212,687,314円
申請3年度前の決算	479,839,184円	691,728,989円	-211,889,805円

I. ②直前の決算の貸借対照表における「運用資産－外部負債」の状況

	運用資産(C)	外部負債(D)	差額(C)-(D)
申請前年度の決算	1,275,210,567円	29,437,882円	1,245,772,685円

II. 申請校の直近3年度の収容定員充足率の状況

	収容定員(E)	在学生等の数(F)	収容定員充足率(F)/(E)
今年度(申請年度)	160人	94人	58%
前年度	160人	114人	71%
前々年度	160人	123人	76%

大学・短期大学・高等専門学校で、II. 申請校の直近3年度の全ての収容定員充足率が8割未満の場合
申請前年度に当該学校を卒業した者について、今年度(申請年度)5月1日時点の状況について

(A)又は(B)のいずれかを記載

・申請校の直近の進学・就職率の状況(A)学校基本統計を利用する場合

	卒業者数(G)	進学者数+就職者数(H)	進学・就職率(H)/(G)
申請前年度の状況			#DIV/0!

・申請校の直近の進学・就職率の状況(B)学校基本統計を利用しない場合

	進学希望者+就職希望者(I)	進学者数+就職者数(J)	進学・就職率(J)/(I)
申請前年度の状況	32人	31人	96%

(I. ②の補足資料)「運用資産」又は「外部負債」として計上した勘定科目一覧

○「運用資産」に計上した勘定科目

勘定科目の名称	資産の内容	申請前年度の決算における金額
第3号基本金引当特定資産		100,000,000円
退職給与引当特定資産		100,000,000円
現金預金		1,075,210,567円

○「外部負債」に計上した勘定科目

勘定科目の名称	負債の内容	申請前年度の決算における金額
未払金		29,437,882円
		円
		円

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	東京基督教大学
設置者名	学校法人 東京キリスト教学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難	
			全学 共通 科目	学部等 共通 科目	専門 科目	合計			
神学部	神学・国際教養学科	夜・通信		8	54	62	13		
		夜・通信							
		夜・通信							
		夜・通信							
(備考)									

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.tci.ac.jp/info/disclosuretop/academic_info/index.html

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	東京基督教大学
設置者名	学校法人 東京キリスト教学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

https://www.tci.ac.jp/info/disclosuretop/basic_info/index.html

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	キリスト教会牧師	2024. 4. 1 2028. 3. 31	～ 学生募集
非常勤	キリスト教会牧師	2024. 6. 5～2028. 6. 4	支援会
非常勤	NPO 法人理事長	2022. 10. 22 2026. 10. 21	～ 支援会
非常勤	キリスト教会牧師	2024. 7. 1 2028. 6. 30	～ 支援団体との関係づくり
非常勤	会社社長	2024. 4. 1 2028. 3. 31	～ 国際関係（主に海外からの寄付）
非常勤	キリスト教会牧師	2022. 7. 1 2026. 6. 30	～ 女性献身者教育
非常勤	キリスト教会牧師	2024. 5. 23 2028. 5. 22	～ 支援会
（備考）			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	東京基督教大学
設置者名	学校法人 東京キリスト教学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
シラバスは本学「学務システム」において全学統一の様式を用い、年度ごとに開講する授業科目分を作成している。 内容は、科目コード(履修目安年次)、授業の内容とねらい、授業テーマと内容(授業計画、授業回数ごと)、到達目標、ディプロマポリシーとの関連、授業形態および授業方法、教科書・参考書、成績評価の方法と基準、課題(試験やレポート)に対するフィードバック等である。 科目担当教員が作成したシラバスの原案は、教務部、教務担当教員で確認を行い、科目担当教員が加筆・修正を行った後、Web上で学生及び広く一般に公開している。 シラバスの作成から公開までのスケジュールは以下のとおりである。 開講前年度 12月下旬～1月末：科目担当教員が本学「学務システム(Webシラバス)」で作成 2月中：教務部、教務担当教員による確認、科目担当教員による再編集 3月上旬：「Webシラバス」にて公開	
授業計画書の公表方法	https://syllabus.tci.ac.jp/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

各科目の成績評価基準である評価方法(期末試験、レポート、小テスト、グループ学習、発表等)と評価方法毎の配点比率(合計 100)をシラバスにおいて示している。複数の評価方法を用いることを原則として学生の学習成果を適正に評価し、本学学則第 26 条の 1 の基準に基づき所定の単位を与えている。

合否(単位)	評点	評価
合格 (単位修得)	100-95	A
	94-90	A-
	89-87	B+
	86-83	B
	82-80	B-
	79-77	C+
	76-73	C
	72-70	C-
	69-65	D+
	64-60	D
	—	P
不合格 (単位修得無し)	59-0	F
	—	NP

東京基督教大学 学則 第 26 条の 1

試験等の評価は A、A-、B+、B、B-、C+、C、C-、D+、D、I、F をもって表し、D 以上を合格とする。

3. 成績評価において、GPA 等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

全学的に統一した評価基準として GPA 制度を導入し、『学修の手引き(学士課程)』にて公開している。

GPA は以下の計算式によって算出する。

$$GPA = \frac{[(\text{科目の単位数}) \times (\text{その科目で得たグレードポイント})] \text{の総和}}{\text{登録科目総単位数}}$$

ただし、「P」(合格)、「NP」(不合格)、「T」(認定)、「R」(再履修)の成績表示分を除く。

GPA は各科目、各学期、各年度、在学中の累計で集計され、進級判定や学習支援の指標としている。また GPA を基準にキャップ制度(履修単位数の上限)、ミニマム制度(履修単位数の下限)を定め、履修指導に活用している。年度末に全体の成績の分布を確認し、成績評価の改善を行っている。

成績評価	グレードポイント (1単位当たり)	成績表示
100-95	4.0	A
94-90	3.7	A-
89-87	3.3	B+
86-83	3.0	B
82-80	2.7	B-
79-77	2.3	C+
76-73	2.0	C
72-70	1.7	C-
69-65	1.3	D+
64-60	1.0	D
59-0	0.0	F

- ・東京基督教大学 学則 第 26 条の 3

第 1 項の評価に基づき、GPA (Grade Point Average) 制度を導入する。同制度の配点その他の詳細は、別に定める。

- ・『学修の手引き(学士課程)』 試験と成績—GPA (Grade Point Average)

客観的な指標の
算出方法の公表方法

https://www.tci.ac.jp/info/disclosuretop/academic_info/index.html

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 本学では下記の「卒業認定・学位授与に関する方針(ディプロマポリシー)」を定め、学生には『学修の手引き(学士課程)』にて、また一般に本学 Web ページで公開している。 卒業予定の学生は卒業判定のひと月ほど前に上記の方針に基づく自己評価を行ない、担任教員はその評価等を用いて卒業予定者との個別面談を行なう。 規程に則り、教務部が作成する在学期間、修得単位数、在学期間中の GPA 累計値等の資料と、個別面談の報告を基に教授会の議を経て、学長が卒業を認定するという手続きを適切に実施している。 ・東京基督教大学 神学部規程 第6条 本学部は、学則第30条第4項に基づき、卒業認定・学位授与に関する方針(ディプロマポリシー)を以下の通り定める。 本学部では、所定の期間在学し、本学の「教育目標」に沿って設定された授業科目を履修して、基準となる単位を修得し、卒業判定に合格することが学位授与の要件となっています。学生のために準備された学びには、講義科目のほか、演習や実習、卒業研究等の科目に加え、寮教育や卒業チャペルでのスピーチが含まれます。 以下の基準を満たしている者に学位が授与されます。 1. プロテスタント福音主義の意義を主体的に把握している。 2. 東京基督教大学の超教派の理念を肯定的に理解している。 3. 修得科目にふさわしい神学の知識とその応用力を身につけている。 4. クリスマンとして人と社会に仕える姿勢および幅広い教養とその実践力を備えている。 5. 神と教会に仕える情熱と、そのために必要な知見を備えている。 ・東京基督教大学 大学学則 第29条 本学を卒業するためには、学生は4年以上在学し、所定の単位を取得しなければならない。 第30条 前条に基づき卒業の要件を満たした者については、教授会の議を経て、学長が卒業を認定する。 ・『学修の手引き(学士課程)』 01_教育目標/ディプロマポリシー/カリキュラムポリシー 13_卒業要件/学位	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	https://www.tci.ac.jp/info/disclosuretop/academic_info/index.html

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	東京基督教大学
設置者名	学校法人 東京キリスト教学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.tci.ac.jp/info/disclosuretop/basic_info/financial_statements.html
収支計算書又は損益計算書	https://www.tci.ac.jp/info/disclosuretop/basic_info/financial_statements.html
財産目録	https://www.tci.ac.jp/info/disclosuretop/basic_info/financial_statements.html
事業報告書	https://www.tci.ac.jp/info/disclosuretop/basic_info/plan.html
監事による監査報告(書)	https://www.tci.ac.jp/info/disclosuretop/basic_info/financial_statements.html

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:	対象年度:
公表方法:	
中長期計画(名称:	対象年度:
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: https://www.tci.ac.jp/info/disclosuretop/hyoka.html

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 神学部
教育研究上の目的 (公表方法：https://www.tci.ac.jp/info/disclosuretop/academic_info/index.html) (概要) 本学部は、プロテスタント福音主義の理念に基づいたキリスト教世界観と召命観を持ち、教派を超えて教会と社会で、世界宣教の志を持って神と人に仕えるクリスチャンを養成することを教育の目標としています。そのために必要な人格と幅広い教養、神学に関する専門的な知識、主体的に考え行動する力の涵養に努めます。 (神学部規程 第 2 条)
卒業又は修了の認定に関する方針 (公表方法：https://www.tci.ac.jp/info/disclosuretop/academic_info/index.html) (概要) 以下の基準を満たしている者に学位が授与されます。 ・プロテスタント福音主義の意義を主体的に把握している。 ・東京基督教大学の超教派の理念を肯定的に理解している。 ・修得科目にふさわしい神学の知識とその応用力を身につけている。 ・クリスチャンとして人と社会に仕える姿勢および幅広い教養とその実践力を備えている。 ・神と教会に仕える情熱と、そのために必要な知見を備えている。 (神学部規程 第 6 条)
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：https://www.tci.ac.jp/info/disclosuretop/academic_info/index.html) (概要) 本学部では、「建学の精神」および「理念とミッション」に基づく「ディプロマポリシー」を達成するために、どのような教育課程を編成し、どのような教育内容・方法を提供し、学修成果をどのように評価するのかを、「カリキュラムポリシー」として以下のように定めています。この「カリキュラムポリシー」を通して、福音的な聖書理解と幅広い神学的知識、さらには情熱を持って神と人に仕えるための実践力を身につけたクリスチャンを育成することを目指します。 (神学部規程 第 5 条)
入学者の受入れに関する方針 (公表方法：https://www.tci.ac.jp/info/disclosuretop/academic_info/index.html) (概要) 本学の入学者に求める条件、資質は以下のとおりです。 ・既に洗礼を受けたか、幼児洗礼の場合は信仰告白をしていること。 ・キリストへの献身を表明し、将来教会と社会に仕えることを志していること。 ・本学の建学の精神と信仰基準に同意すること。 ・聖書の基礎知識を有し、基礎的教養に基づいて自分で考え表現する力があること。 ・自分のことば表現で他者とコミュニケーションがとれること。 (神学部規程 第 4 条)

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：https://www.tci.ac.jp/info/disclosuretop/academic_info/index.html

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学 長・ 副学 長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
－	2 人	－					2 人
神学部	－	6 人	6 人	人	人	2 人	14 人
	－	人	人	人	人	人	人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
人		32 人					32 人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法： https://www.tci.ac.jp/info/disclosuretop/academic_info/portfolio.html					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
神学部	33 人	22 人	66.7%	160 人	94 人	58.8%	14 人	7 人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	33 人	22 人	66.7%	160 人	94 人	58.8%	14 人	7 人
(備考)								

b. 卒業者数・修了者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
神学部	45 人 (100%)	16 人 (35.6%)	17 人 (37.8%)	12 人 (26.7%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	45 人 (100%)	16 人 (35.6%)	17 人 (37.8%)	12 人 (26.7%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考) 「その他」には神学校進学者、留学準備中の者、無給の教会スタッフ等を含む。				

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)

東京基督教大学では、「建学の精神」および「理念とミッション」に基づく「卒業認定・学位授与に関する方針(ディプロマポリシー)」を達成するために、どのような教育課程を編成し、どのような教育内容・方法を提供し、学修成果をどのように評価するのかを「教育課程編成・実施の方針(カリキュラムポリシー)」として定めている。

「教育課程編成・実施の方針(カリキュラムポリシー)」に則り、編成された授業科目は、年度ごとに作成されるシラバスで授業方法、内容などが公開されている。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)

各科目においては、到達目標に従って成績基準を行なう。また、卒業判定につながる学修成果の評価には、通常の科目成績評価に加え、DP(ディプロマポリシー)ルーブリックに基づく学生の自己評価、教員との面談を含む他社評価、外部評価が総合的に用いられる。

成績評価基準、「卒業認定・学位授与に関する方針」は学生及び一般に公開されている。

学部名	学科名	卒業又は修了に必要な となる単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
神学部	神学・国際教養学科	124 単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
GPAの活用状況 (任意記載事項)		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：<https://www.tci.ac.jp/info/soshiki/index.html>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
神学部	共通	690,000 円	50,000 円	342,000 円	
		円	円	円	
		円	円	円	
		円	円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 適切な相談・指導等をおし、学生がその時に最適な履修を計画することができるよう支援を行う。特に、障がい等でサポートの必要な学生には、適切な修学支援の実施を目指す。また経済的支援が必要な場合は、大学独自の奨学金（奨学基金を含む）や学外の奨学金の案内、相談、取り扱い業務を適切に実行することにより、学生が修学に専念できるよう支援する。入学手続き時に給付奨学金予約採用者からの申し出があった場合、入学手続き時納付金から入学金・授業料の猶予を行う。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 学生のキャリア支援は、初年度から卒業年度までの学生のキャリア形成を、キャリア支援室を中心に総合的にサポートする。学生が自律的に進路を選択し、学生生活と卒業後の進路を一体的に捉え、早期から計画性をもって準備ができるよう指導・ガイダンスを定期的に実施し支援する。また、毎年全体の半数近くを占めるキリスト教会の牧師職に就く者、神学教育機関に進学する者など、教会教職志望者に対しても、職業観とキャリア意識の醸成を促すことを目指す。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 健康相談室及び学生相談室に、専門スタッフを配置し、学生の心身の健康及び安全・衛生の確保を目指す。啓発等の取り組みを実施し、各種ハラスメント防止を心掛ける。各（男子・女子・家族）寮が、独自性を発揮しつつキリスト者としての全人格的な成長を遂げる共同生活の場となるように支援する。また各寮の寮運営をサポートし、適宜アドバイスをを行う寮主事を配置する。各寮の代表と寮主事及び学生部教職員は、定期的に懇談の場を持ち、情報交換を行い、厚生面全般の向上を目指す。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：https://www.tci.ac.jp/info/disclosuretop/academic_info/index.html

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	F112310102547
学校名 (〇〇大学 等)	東京基督教大学
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	学校法人 東京キリスト教学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等（内数） ※家計急変による者を除く。		17人（ ）人	19人（ ）人	19人（ ）人
内 訳	第Ⅰ区分	10人	9人	
	(うち多子世帯)	()人	()人	
	第Ⅱ区分	3人	5人	
	(うち多子世帯)	()人	()人	
	第Ⅲ区分	2人	2人	
	(うち多子世帯)	()人	()人	
	第Ⅳ区分（理工農）	人	人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	2人	3人	
	区分外（多子世帯）	人	人	
家計急変による 支援対象者（年間）				0人（ ）人
合計（年間）				19人（ ）人
(備考)				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	人	人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が廃止の基準に該当）	0人	人	人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	0人	人	人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	0人	人	人
計	0人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学(3月未満の期間のものに限る。)又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)&及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)	
	年間	前半期	後半期
GPA等が下位4分の1	2人	人	人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)&及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が警告の基準に該当)	0人	人	人
GPA等が下位4分の1	3人	人	人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	0人	人	人
計	人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。